



国際交流基金 米国若手日本語教員 (J-LEAP)

日本語教育を通じて**日米交流**の架け橋になろう

アシスタントティーチャー
として、アメリカの教育
現場で、日本語教育を
支える仕事です



学校や地域活動で日本
文化を発信し、アメリカに
おける日本理解を深めます



アメリカの小・中学校、
高校で、日本語教育の
経験を積める数少ない
チャンス



チームティーチングや様々
な研修を通じて実践的な
スキルを伸ばせます



米国若手日本語教員（J-LEAP Japanese Language Education Assistant Program）とは？

J-LEAPでの活動内容

アシスタントティーチャー（AT）として、米国受入機関（初中等教育機関）のリードティーチャー（LT）のもと、派遣校での授業サポートなどに加え、その地域での日本語教育や日本文化の促進活動を行います。

若手日本語教員



米国受入機関



リードティーチャー（LT）

派遣校での活動

- ・ LT とのチームティーチング
- ・ 教材やカリキュラムの作成
- ・ 宿題・テスト等の補助活動 など

地域での活動

- ・ 日本の文化、社会理解のための各種イベント支援や主催
- ・ 日本語教育促進活動のための他校訪問 など

J-LEAPの充実した研修プログラム

米国出発前から赴任中に至るまで、様々な研修が用意されており、専門知識やスキルを継続的に伸ばすことができます。

出発前（日本）

派遣前研修

1年目 到着直後

着後研修

1年目 到着 2～3ヶ月目

サイトビジット
（プログラム事務局による視察指導）

1年目 到着 4ヶ月目

フォローアップ研修

2年目 7月下旬

継続研修

※その他、定期課題があります

応募・選考の流れ

以下のスケジュールは過去の例となり、募集年度によって変更の可能性があります。詳細はホームページをご覧ください。

応募

応募締切：1月中旬

書類選考

1月下旬

面接

2月中旬

合格通知

3月上旬

派遣

7月下旬

応募条件・待遇

学歴	4年制大学卒業以上（卒業見込みも含む）
年齢	35歳未満
日本語教育学習歴	以下のいずれかを満たすこと。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学または大学院で日本語教育を主専攻または副専攻として修了（または修了見込み） ・ 日本語教育能力検定試験を合格 ・ 日本語教師養成講座（420時間以上）を修了（または修了見込み） ※大学院に在学中でも応募可能 ※修了見込み時期の条件については募集要項を参照
日本語教授歴	日本語教授経験については不問
その他必要資格	普通自動車第一種運転免許
待遇	基本報酬、在勤加算（勤務に必要な現地生活費等）、各種旅費、住居補助費、車両購入補助費、保険費用等を支給

※詳細は公募時にWEBで公開される募集要項をご確認ください

詳しい情報はコチラ

WEB検索から

国際交流基金 J-LEAP

検索

QRコードから



お問い合わせ先

独立行政法人国際交流基金 日本語第1事業部 事業第2チーム J-LEAP 担当

Eメール：jfkouza@jpf.go.jp

https://www.jpf.go.jp/j/project/japanese/teach/dispatch/voice/j-leap/index.html

J-LEAPは国際交流基金と米国の非営利団体ローラシアン協会が共同で実施しています。